

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
家事支援技術Ⅱ Housekeeping Support Technology Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟・3F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
自立に向けた家事の介護の仕方を学ぶ。生活支援としての身の回りの整理・洗濯・掃除・ゴミ捨て・衣類・寝具の衛生管理や裁縫・買い物・家庭経営や家庭の管理など、基本的な生活運営ができるよう技術を体得する。				
授業の目標				
基本的な生活運営ができるよう、また利用者の状況に応じた介助支援ができるようにする。				
授業の方法				
テーマに沿った実習・実技と知識で、より家事支援技術の実践・応用力をつける。				
学習の成果(学習成果)				
利用者の状況に応じた介護支援がスムーズにできることが、実践の場で求められるため、細かな支援に気づき、行動できるようになる。発表や作品製作の紹介や発表を通して、考え方を共有し今後の支援の応用力を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	授業ガイダンス 衣類・寝具の衛生管理① (調査レポート)			
第2回目	衣類・寝具の衛生管理 ② (演習)			
第3回目	衣類の汚れ落とし (実習)			
第4回目	洗濯の方法、 素材別、洗剤の種類 (実習)			
第5回目	衣類の補修、衣類の保管			
第6回目	障害者別、衣服のリホーム例紹介と製作			

第7回目	掃除の仕方、高齢者居室の掃除、注意事項	
第8回目	ゴミ捨て、分別・エコライフ、QOL向上のための支援	
第9回目	快適生活のための室礼（季節を楽しむ支援） ①	
第10回目	快適生活のための室礼（利用者とともに演出） ② [発表]	
第11回目	自立に向けた生活支援 ① 衣生活の側面から	
第12回目	自立に向けた生活支援 ② 衣生活の側面から	
第13回目	安眠を促す介護、QOL向上のための支援 ①	
第14回目	安眠を促す介護、QOL向上のための支援 ② [発表]	
第15回目	まとめ	
事前・事後学習	事前：生活の場の特徴、構成要素など基本的な生活を確認する。事後学習：学んだ後に、実践の場での応用力や即戦力の確認。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻、欠席がなく毎時間、意欲的に授業参加していたか。
レポート	30%	課題を深く調べ、自分の考えを十分にまとめ支援できているか。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	40%	作品、発表など総合的に、レベルの高い内容であったか。
その他		
教科書と参考図書		
①生活支援技術Ⅰ（中央法規） 介護福祉士フィールドで購入 ②生活ハンドブック（第一学習社）		
履修上の留意点・ルール		
特になし		